

## 事前評価個表

整理番号	24
------	----

地域（地区）名	くまがわ 球磨川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	熊本県	対象市町村	やつしろ 八代市ほか14市町村
事業実施期間	R5年度～R9年度（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、林業事業者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、熊本県の南部に位置し、対象民有林は171千ha、うちスギ、ヒノキを主体とした人工林は118千ha（人工林率69%）と、熊本県を代表する林業地域である。</p> <p>本地区の民有林人工林の齢級構成は、7齢級以上の森林が88%を占めており、本格的な利用期を迎えている。</p> <p>また、適正な保育・間伐を必要とする3～12齢級の森林が52%もあることから、伐採適期を迎える高齢級の人工林の主伐後の確実な再生林のほか、保育の実施が求められており、森林資源の循環利用に向けた森林整備を行い、水源涵養機能や土壌保全機能等の公益的機能の発揮とともに効率的な木材の有効利用を推進する必要がある。</p> <p>本事業では、森林の有する多面的機能の維持増進を図るため、森林施業の集約化による効率化を図りつつ、間伐や再生林等の森林整備及びこれらを効率的に推進するために必要な路網整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：18,035ha 人工造林、下刈り、除伐、枝打ち、間伐等</p> <p>路網整備：5,121m 林道開設</p> <p>総事業費：16,357,439円（税抜き14,870,399千円）</p>
費用便益分析結果	<p><math>B/C=6.77</math></p> <p>（総便益（B）=146,286,618千円、総費用（C）=21,610,820千円）</p>
評価結果	<p><b>必要性：</b>主伐後の再生林や間伐等の森林整備が必要な人工林が多くを占める地区であり、森林の多面的機能の維持増進を図るため、適正な森林整備の実施が求められており、事業の必要性が認められる。</p> <p><b>効率性：</b>費用便益分析結果から十分な効率性が認められるとともに、森林施業の集約化や路網の整備による効果的かつ効率的な森林整備を推進することとしており、事業の効率性が認められる。</p> <p><b>有効性：</b>森林整備によって、森林の有する水源涵養機能や土壌保全機能といった公益的機能及び木材等生産機能の維持増進が図られるため、事業の有効性が認められる。</p>

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：熊本県

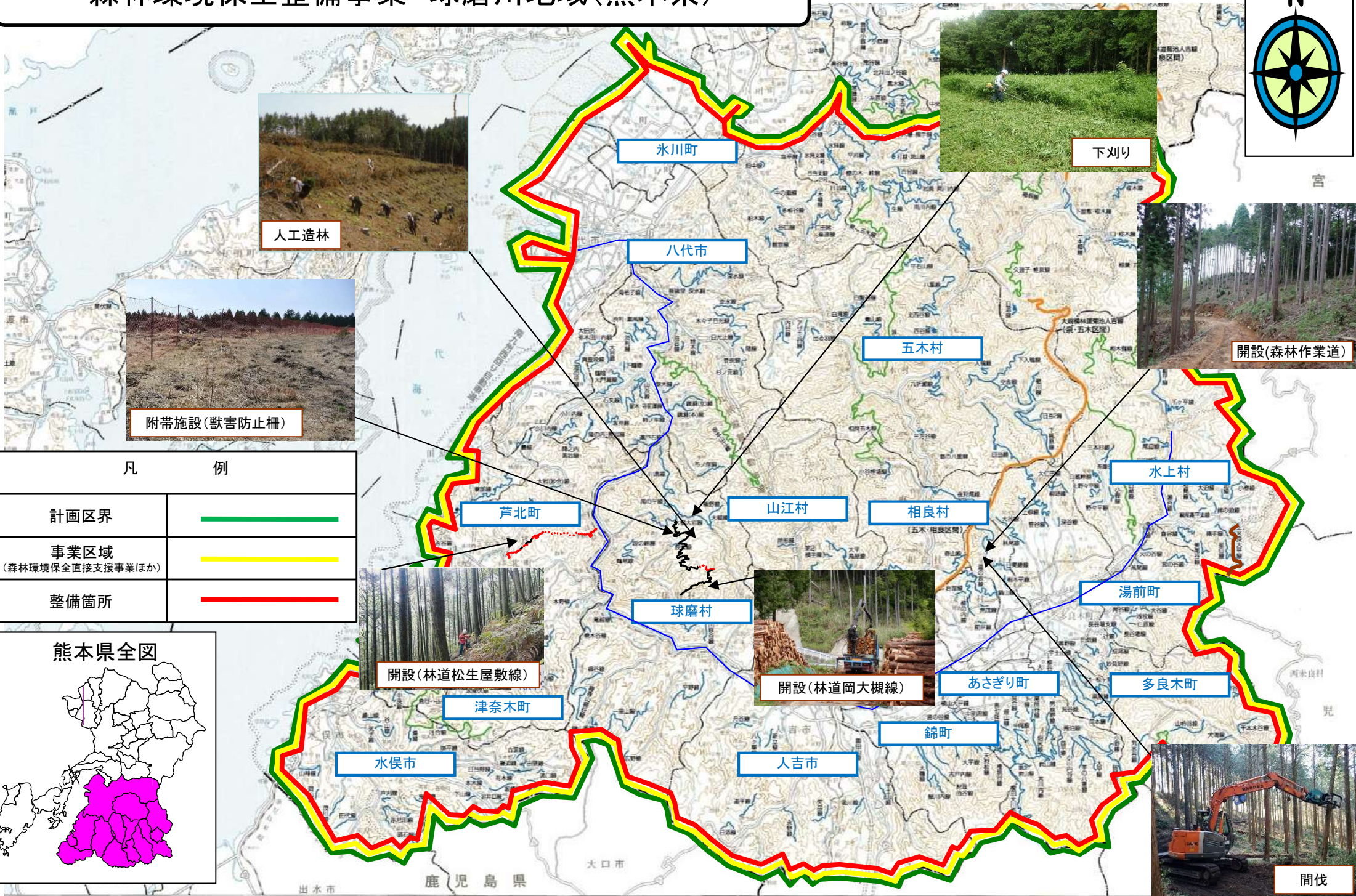
地域(地区)名：くまがわ  
球磨川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	45,418,764	
	流域貯水便益	11,673,429	
	水質浄化便益	38,274,360	
山地保全便益	土砂流出防止便益	23,691,882	
環境保全便益	炭素固定便益	13,021,882	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	702	
	木材利用増進便益	242,735	
	木材生産確保・増進便益	12,983,170	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	766	
	森林整備促進便益	978,928	
総 便 益 (B)		146,286,618	
総 費 用 (C)		21,610,820	
費用便益比	$B \div C = \frac{146,286,618}{21,610,820} = 6.77$		



# 森林環境保全整備事業 球磨川地域(熊本県)



凡 例	
計画区界	
事業区域 (森林環境保全直接支援事業ほか)	
整備箇所	

